

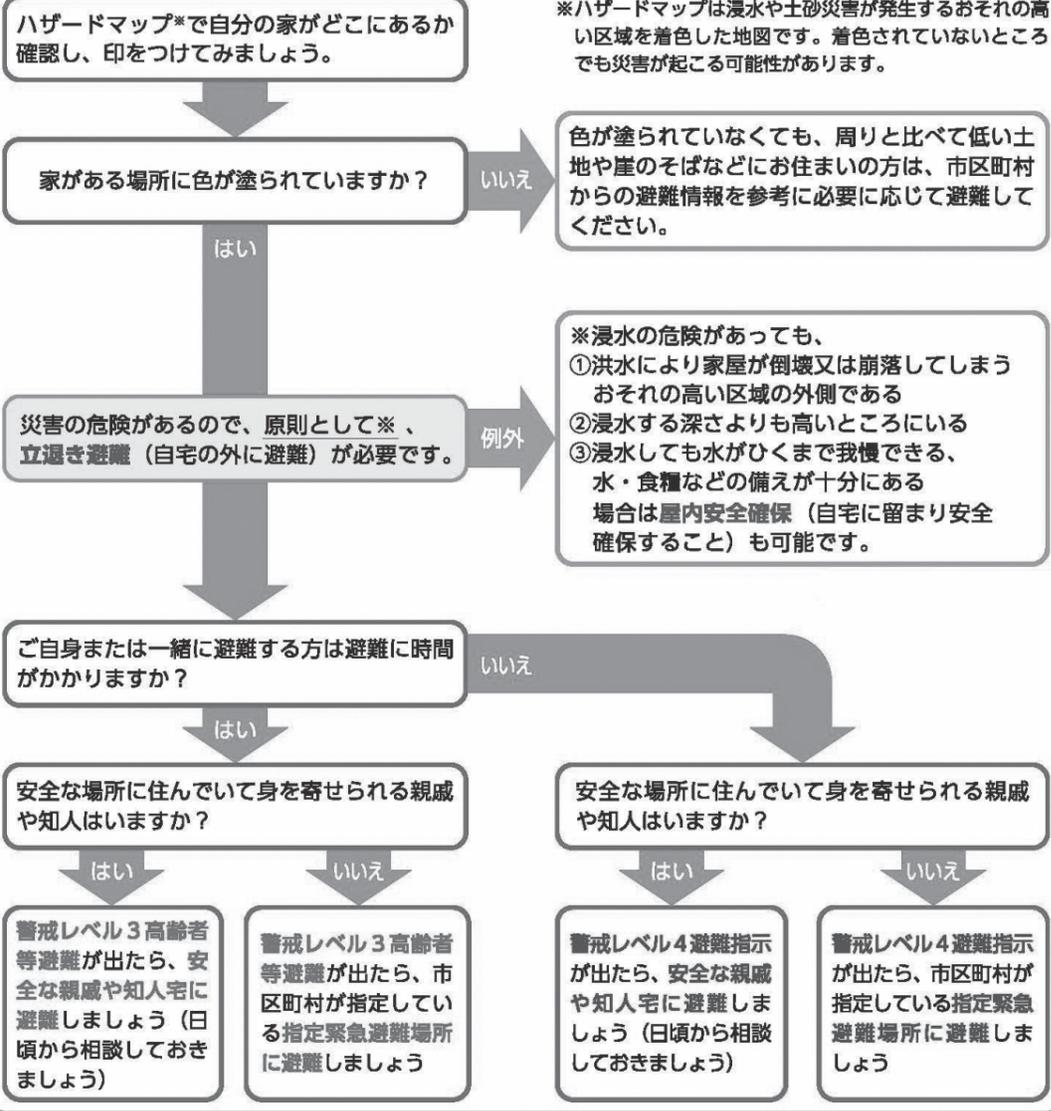
台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取組みましょう



※「避難行動判定フロー」（内閣府ホームページ）から一部修正して作成



避難所では災害の規模によって3密（密閉・密集・密接）状態になることが予想されますので、手洗い・アルコール消毒やマスクの着用など、感染症対策を心がけましょう。

災害から命を守る

平成30年7月豪雨災害では多くの河川の氾濫や土砂崩れなどが生じ、岡山県がこれまで経験したことの無い規模の災害となりました。こうした自然災害は、今後も発生頻度が増すと予測されており、ますます警戒が必要です。災害から命を守るために、平時から事前の準備を行い、発災時の対応などについて確認をしておきましょう。

平時にできること

- ①自宅が安全かどうか確認する
 - ・どのような災害の危険性があるかを確認（地震、津波、洪水、土砂災害）
 - ・とるべき避難行動を確認（避難経路、避難所の位置など）
 - ②避難生活に必要なものを準備する
 - ・水や食料に加え、必要なものは自分で持参する
 - ・3日以上以上の備蓄を準備する
 - ③防災情報の入手方法を確認する
 - ・さまざまな方法で防災情報を入手できるようにする
- ★防災ハザードマップ（令和2年3月作成）を参考にしながら準備・確認を行いましょ。

防災情報の入手方法

テレビ

○データ放送（NHK）

防災放送

○屋外放送塔、戸別受信機

パソコン・携帯電話・スマートフォン

○おかやま防災ポータル

○市ホームページ

○緊急速報メール（エリアメール）

○Yahoo! 防災速報アプリ



おかやま防災ポータル



Yahoo! 防災速報アプリ ios版



Yahoo! 防災速報アプリ Android版

令和3年5月20日から

「避難指示」で必ず避難！

「避難勧告」は廃止です



警戒レベル 4

警戒レベル

新たな避難情報等

5 きんきゆうあんぜんかくほ
緊急安全確保

= 警戒レベル4までに必ず避難！ =

4 ひなんしじ
避難指示

3 こうれいしゃとうひなん
高齢者等避難

2 大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

1 早期注意情報
(気象庁)

これまでの避難情報等

災害発生情報

・避難指示（緊急）
・避難勧告

避難準備・
高齢者等避難開始

大雨・洪水・高潮
注意報
(気象庁)

早期注意情報
(気象庁)

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません！

「避難勧告」は廃止されます。これからは、警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

※市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※「避難指示」は、これまでの「避難勧告」のタイミングで発令されることとなります。
※警戒レベル3は、避難に時間のかかる高齢者や障害のある人以外の人も必要に応じて「普段の行動を見合わせる」「危険を感じたら自主的に避難する」タイミングです。